



# 沈む夕日に乾杯。



↑東シナ海に沈む夕日と焼酎がなみなみと注がれたグラス

10月18日、第3回長島焼酎祭り「よこまつ」が、町文化ホール下の特設会場でありました。昨年は、雨天により屋内で実施となった同祭りですが、この日は朝から好天に恵まれました。町内外から約千人が訪れ、東シナ海に沈む夕日をさかかに長島の美酒に酔いしれました。

杯の音頭をとりました。長島を代表する銘柄「さつま島美人」のほか、島内限定販売の「島娘」など5種類の焼酎やカクテルが振る舞われました。好きな銘柄を好きだけ飲めるとあって、焼酎サーバーには次から次へと焼酎をグラスに注ぐ人の波ができました。

内を沸かせました。このほか、広美&なのの薩摩の猿まわしショーや抽選会もあり、来場者らがにぎわいを見せました。日が暮れ始めると、海に沈む夕日を収めようと、場内のあちこちでシャッターを切る音が聞こえ、暮れてからはより一層、気の合う仲間同士の笑い声が響きました。

下塩見浩実行委員長が「長島の焼酎は美味しくて人気が高い。美味しい特産品などと一緒に祭りを楽しんで」とあいさつし、川添健町長が声高らかに乾

杯の音頭をとりました。長島を代表する銘柄「さつま島美人」のほか、島内限定販売の「島娘」など5種類の焼酎やカクテルが振る舞われました。

熊本県津奈木町の久村りえ子さんは「夕日がかっこいい。仲間と飲めて、期待以上に楽しかった」と頬を染めました。

→曲に合わせて踊りを披露する来場者



↑気の合う仲間と顔を赤らめ「ハイ、チーズ」



↑サーバーから好きなだけ焼酎を注ぐ来場者



↑子どもたちにも人気だった広美&なの猿まわしショーの1コマ